

みんなでつくる「人を大切にするまち」

私たちのふるさと鳥取市は、豊かな美しい自然の中で、長い歴史と伝統を育み、県都として、さらに山陰地方の中核都市として着実に発展してまいりました。

いま我が国は、人口減少や少子高齢化の進展、長引く景気の低迷による雇用情勢の悪化、地球規模での環境問題の深刻化、情報通信技術の発展、地域主権改革の推進など、政治・経済・社会・教育・文化・環境などあらゆる分野で大きな変革期にあります。このような状況の中、鳥取自動車道をはじめとする高速道路の開通、山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟認定など、本市の持続的な発展につながる明るい展望があります。今後も本市の機能や特性を活かし、さらなる発展に向けて、住民に身近な行政として市民との協働によるまちづくりや行財政改革に取組み、自立と創造、知恵と努力によって、市民に最適な行政サービスを提供し、効率的な都市経営を行っていくこととしています。

第9次鳥取市総合計画は、市民のみなさんと共に取組むまちづくりの指針として、アンケートや市民まちづくりワークショップを通じて市民等との協働により策定いたしました。この総合計画では、「人を大切にするまち」をまちづくりの理念とし、将来像「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」の着実な実現に向け、重点的な取組みを「人を大切にするまち」リーディングプロジェクトとして掲げ、推進していきます。

リーディングプロジェクトは、人づくり、安全・安心、若者定住など6項目の柱を立てておりますが、平成23年3月に発生した東日本大震災により、改めて地域防災体制の一層の強化の必要性と重要性を再認識させられました。このため、市民の災害対応力の向上や災害に強いまちの実現に向け、リーディングプロジェクト「健康で安全・安心な暮らしづくりプロジェクト」を推進するとともに、災害時に中枢を担い真に機能する防災拠点として新庁舎の整備を行うなど、市民の安全・安心な暮らしの確保に向けて取組みを強力に推進します。

また、着実に計画を進めていくため、それぞれの進捗状況の把握及び行政評価による点検・評価を行い、成果を重視した進行管理を行います。

これまでのまちづくりの成果と教訓を踏まえながら、この総合計画に基づいて市民のみなさんと「人を大切にするまち」を共に築いてまいりたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重なご意見をお寄せいただいた多くの市民のみなさんをはじめ、長期にわたりご審議を賜りました鳥取市総合企画委員会委員、市議会の議員各位に対し、心から深く感謝を申し上げます。



鳥取市長 久内 功